

土木学会 コンクリート委員会
平成 24 年度 第 1 回規準関連小委員会 議事録 (案)

日時：平成 24 年 4 月 9 日 (月) 14:00～16:00

場所：土木学会 A 会議室

出席者 鎌田委員長、上野幹事長、入内島、内田、小川、片平、加藤、坂本、田中(秀)、田中(博)、辻本、椿、中村、野村、堀越、丸岡、森、横関 (敬称略)

配布資料

- 1-0 平成 24 年度第 1 回規準関連小委員会議事次第 (案)
- 1-1 平成 23 年度第 4 回規準関連小委員会議事録 (案)
- 1-2 規準関連小委員会 委員構成 (案) 平成 24 年 1 月 11 日現在
- 1-3 フレッシュコンクリート関連の改正規準について (JSCE-F 505, 516, 546 改正案)
- 1-4 英文版土木学会規準目次一覧
- 1-5 硬化コンクリート関連 JIS 目次案
- 1-6 骨材 JIS 7 規格に関する意見

議事内容

1. 委員長挨拶

鎌田委員長より、平成 24 年度第 1 回委員会開催にあたっての挨拶がなされた。また、今回から交代した入内島委員 (電気化学工業) の紹介がなされた。

2. 前回議事録の確認

資料 1-1 に基づき前回議事録の確認がなされ、鎌田委員長より以下の補足説明等があった。

- ・議事内容 4. 表面含浸材の試験方法 (K571、K572) は 3 月の常任委委員会ではほぼ承認された。
- ・議事内容 5. 500mm フロー到達時間試験方法等のフレッシュ WG 関連規準についても、軽微な修正はあるが承認された。

3. 委員構成について

資料 1-2 に基づき委員構成の確認がなされ、各委員に対して、所属 WG の再確認の要請があった。

4. 表面含浸材の試験方法について

K 571 表面含浸材の試験方法 (案)、および K 572 けい酸塩系表面含浸材の試験方法 (案) について、補修・注入材等 WG での改正作業は終了していることが確認された。

5. フレッシュコンクリート関連の改正規準について (フレッシュ WG)

丸岡委員および坂本委員より、資料 1-3 に基づき、F 505、F 516、F 546 の改正について説明がなされた。主な審議事項は以下の通り。

・ F 505 試験室におけるモルタル作り方 (案)

「適用範囲」の「注記」において、改訂の経緯をさらに充実させるとともに、資料 1-3 において二重枠内に示された留意点 (F 505 を引用している JSCE 規準に関して) についても「注記」への記載を検討する。例えば、表 2 の変更についてなど。なお、片平主査によれば、B 101 コンクリート用練混ぜ水の品質規格については、F 505 の変更による影響はないとのこと。

→次回委員会時に「注記」の修正案を提示し、再審議することとなった。

・ F 516 高流動コンクリートの 500mm フロー到達時間試験方法 (案)

コンクリート委員会からの指摘事項である、到達時間測定方法のタイミングの明示への対応については、原案のままで理解できると判断し、規準関連小委員会として問題はないということで意見が一致した。

・ F 546 傾斜管によるプレパックドコンクリート注入モルタルおよび PC グラウトのレオロジー定数試験方法 (案)

5.1 の C を計算する式の τ の添え字を $y \rightarrow f$ に修正する。添え字を 0 とする場合も考えられるため、式(2)の参考文献を確認する。また、4.b)「定常状態」について、「注記」を充実させる。例えば、試料を採取してはいけない状況についての説明を記述するなど、別の表現を検討する。また、「適用範囲」に、試験に適用可能なモルタルの粘度を追記した方がよいのではないかとの意見があった。

→次回委員会時に修正案を提示し、再審議することとなった。

6. 各 WG からの目次案作業状況の報告

各 WG とも、現状では、特筆すべき事項はないとの報告であった。

7. 規準編改訂版の書式について

皆川主査欠席のため、次回委員会にて審議することとなった。

鎌田委員長より、書式最終配布版を用いて、書式の改訂作業を進めるよう要請があった。また、改訂後のファイル拡張子は「.doc」(×「.docx」)とすることとなった。(サーバ上の共有アプリケーション利用の場合に対応するため)

8. 規準編改訂版のスリム化について

日比野主査欠席のため、次回委員会にて審議することとなった。

9. 英文版土木学会規準の状況について

上野幹事長より、資料 1-4 に基づき、英文版土木学会規準の状況について説明がなされた。

英文校閲の外注準備として、計 13 規準について、内容 (主に、専門用語や明らかな間違いの確認) を確認することとなった。期限は 1 週間程度とする。対象 13 規準の電子ファイルについては、後日、上野幹事長より全委員にメール配信することとなった。各規準の確認担当 WG は以下の通り。

E 701, E 702, E 703, E 704, E 705 : セメント、水、骨材、混和材料 WG

E 706, E 707, E 708, E 709, E 710 : 製品、施工機械等 WG

G 574, G 575 : 硬化コンクリート WG

K 562 : 補修、注入材等 WG

10. 2013 年版に掲載する JIS について

横関主査より、資料 1-5 に基づき、2013 年版に掲載する硬化コンクリート関連 JIS 目次案について説明がなされた。2012 年 3 月に改正された JIS が多いため、これに基づいて土木学会規準を再度見直す必要がある。なお、「引用規格」とする JIS の番号が変更された場合、土木学会規準のタイトルは「(案)」、「-2013」とする必要がある。(JIS 番号、名称に変更がない場合は、土木学会規準のタイトル変更は生じない。)

11. 骨材 JIS 7 規格に関する意見について

上野幹事長より、骨材 JIS 7 規格に関する意見について、資料 1-6 のとおり JCI へ回答したとの報告があった。

12. その他

鎌田委員長と上野幹事長で、これまで継続審議と位置付けられた案件について再整理し、次回委員会以降で審議することとなった。

13. 次回の予定

平成 24 年 6 月 26 日 (火) 14:00~17:00

平成 24 年 6 月 28 日 (木) 14:00~17:00

平成 24 年 7 月 11 日 (水) 14:00~17:00

のうち、いずれかとし、本日欠席の WG 主査に日程調整を打診する。

次回小委員会では、各 WG に 2013 年版規準編の改訂目次案を提示していただく。

文責 加藤